

心理臨床研修【5時間を基本とした講義セット】

※臨床心理士のポイント更新可能

研修No	研修テーマ	講義	講義形式	講義時間	講師	受講料
B-1-1	人々の暮らしを支えること (320分)	人々の暮らしを支える礎となるもの　―法と医療の視点から―	○	67分	安倍嘉人（元東京高等裁判所、長官） 神庭　重信（九州大学、名誉教授） 村瀬　嘉代子（大正大学　名誉・客員教授）	8,800円
		人々の権利を守る社会制度の仕組み	△	48分	増沢　高（子どもの虹情報研修センター、研究部長） 高橋　温（NPO法人子どもセンターてんぼ理事長、弁護士） 畑山　麗衣（NPO法人Giving Tree、ピアカウンセラー）	
		家庭内紛争の中にいる子どもの心理	○	46分 44分	安保　千秋（都大路法律事務所、弁護士） 熊上　崇（和光大学、教授）	
		家族　―我が国における家族の変遷―	◎	60分	神谷　哲司（東北大学、教授）	
		家族像とアイデンティティ　―養育における身近な大人の役割―	□	55分	神谷　哲司（東北大学、教授） 松永　忠（社会福祉法人別府光の園、統括施設長） 国分　美希（社会福祉法人至誠学舎立川　至誠大空の家、施設長）	
B-1-2	日々の実践を考えるためのヒント(301分)	日々の実践を振り返る	◎	54分	増沢　高（子どもの虹情報研修センター、研究部長）	8,800円
		事実への接近　―法律家として―	◎	60分	金矢　拓（四季の風総合法律事務所城南オフィス、弁護士）	
		さまざまな分野における事実の取り扱い ―医療、福祉、教育、司法、産業　各分野の実践における見方・考え方―	□	67分	神庭　重信（九州大学、名誉教授） 黒木　俊秀（九州大学、教授） 増沢　高（子どもの虹情報研修センター、研究部長） 石隈　利紀（東京成徳大学、教授） 橋本　和明（国際医療福祉大学、教授） 金井　篤子（名古屋大学、教授）	
		心理的支援の実践と研究成果：科学的根拠	◎	60分	岩壁　茂（立命館大学、教授）	
		心理専門家の責任とクライアントの責任　―心理職の仕事とは―	◎	60分	森田　美弥子（名古屋大学、名誉教授）	
B-1-3	人間理解の諸相（300分）	人間のこころにひそむもの　―人が人を理解すること―	◎	62分	森岡　正芳（立命館大学、教授）	8,800円
		脳とこころの発達　―脳科学の知見から―	◎	61分	黒田　公美（東京工業大学　生命理工学院、教授）	
		人間のライフ・サイクルと心理社会的成長　―愛着に焦点を当てて―	◎	107分	遠藤　利彦（東京大学、教授）	
		人間の理解、人間存在の理解　―スピリチャリティの面から―	△	70分	神庭　重信（九州大学、名誉教授） 島菌　進（東京大学、名誉教授）	
B-1-4	いのちと尊厳を考える (301分)	生命倫理　―医療の高度化と倫理―	◎	67分	香川　知晶　（山梨大学、名誉教授）	8,800円
		生命と存在に関わる真実告知　―病名の告知―	◎	40分	久保田　馨（日本医科大学、教授）	
		生命と存在に関わる真実告知　―出自の告知―	◎	80分	柘植　あづみ（明治学院大学、副学長・教授）	
		いのちの誕生　―NICUにおける支援―	◎	54分	永田　雅子（名古屋大学、教授）	
		インフォームド・コンセントと協働による意志決定	◎	60分	田中　康雄（こころとそだちのクリニックむすびめ、医師）	
B-1-5	こころと文化（341分）	文化における普遍性と多様性 ―進化心理学、社会心理学、人類学の視点から捉える―	○	37分 35分 35分	長谷川　真理子（総合研究大学院大学、前学長） 外山　みどり（学習院大学、名誉教授） 波平　恵美子（お茶の水女子大学、名誉教授）	8,800円
		心理的支援の実践における文化　―こころの治療と文化との関わり―	◎	62分	江口　重幸（東京武蔵野病院、名誉副院長）	
		マイノリティの文化と心理的支援 ―さまざまなマイノリティと多様性の理解―	○	45分 38分 21分	加賀美　常美代（目白大学、教授） 熊谷　晋一郎（東京大学、准教授） 葛西　真記子（鳴門教育大学、教授）	
		文化間移動のこころへの影響 ―外国につながる子どもの理解と支援―	◎	68分	徳永　智子（筑波大学、准教授）	
B-1-6	生活から心理支援を考える (310分)	生活と心理臨床	◎	62分	滝川　一廣（あなはクリニック、医師）	8,800円
		生活の営みとこころ　―児童養護施設における暮らしを通して考える―	□	73分	増沢　高（子どもの虹情報研修センター、研究部長） 松永　忠（社会福祉法人別府光の園、統括施設長） 国分　美希（社会福祉法人至誠学舎立川　至誠大空の家、施設長）	
		司法・犯罪関連施設における生活と関係性の治療的意味 ―児童自立支援施設における支援と子どもの育ち―	△	62分 27分	富田　拓（北海道家庭学校樹下庵・網走刑務所医務課、医師） 村瀬　嘉代子（日本心理研修センター顧問　大正大学客員名誉教授）	
		逸脱行動の背景にある愛着の課題や発達の課題の理解 ―事例をもとに―	○	86分	富田　拓　（北海道家庭学校樹下庵・網走刑務所医務課、医師） 野坂　祐子（大阪大学、教授） 田中　康雄（こころとそだちのクリニックむすびめ、医師）	
B-1-7	多職種連携の実践に必要な力とは　―各分野における多職種連携―　(324分)	多職種連携・協働の理念　―医療制度、教育制度から考える―	○	74分	中尾　智博（九州大学、教授） 石隈　利紀（東京成徳大学、教授）	8,800円
		連携・協働に必要な実践力　―福祉、司法の現場から考える― ①情報共有するための事例の記録と報告	○	60分	増沢　高（子どもの虹情報研修センター、研究部長） 橋本　和明（国際医療福祉大学、教授）	
		連携・協働に必要な実践力　―産業、教育の現場から考える― ②連携・協働するためのコミュニケーション・相互コンサルテーション	○	95分	三宅　美樹（株式会社トヨタ車体研究所） 田村　節子（東京成徳大学、教授）	
		司法関係者等との有効な連携を図るためのアセスメントと関わり ―司法分野におけるアセスメントと司法面接―	○	38分 57分	寺村　堅志（常磐大学、教授） 仲　真紀子（理化学研究所、立命館大学、教授）	

心理臨床研修【5時間を基本とした講義セット】

※臨床心理士のポイント更新可能

研修No	研修テーマ	講義	講義形式	講義時間	講師	受講料
B-1-8	障害のある子どもとその家族への支援（312分）	福祉領域における権利擁護と法制度 ー障害福祉分野における権利擁護の考え方ー	◎	31分	丹野 傑史（長野大学、教授）	8,800円
		多職種協働による支援と心理職の役割 ー障害福祉分野における多職種協働の考え方ー	◎	30分	下山 真衣（信州大学、准教授）	
		障害のある当事者、家族、支援者への支援と心理職の役割	◎	40分	田熊 立（千葉県発達障害者支援センターCAS、副所長）	
		神経発達症・障害とこころ ー発達障害を理解するー	◎	48分 51分	井上 雅彦（鳥取大学、教授） 黒田 美保（田園調布学園大学、教授）	
		神経発達症（発達障害）の理解とその支援	◎	65分	黒田 美保（田園調布学園大学、教授）	
		強度行動障害の理解と支援の実際	◎	47分	高橋 潔（鉄道弘済会、理事）	
B-1-9	心理職として知っておきたい 現代社会の課題① （307分）	自傷について	◎	61分	松本 俊彦（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、薬物依存研究部部長(兼任)薬物依存症センター、センター長）	8,800円
		自殺（自死）について	◎	57分	新井 肇（関西外国語大学、教授）	
		暴力や加害の背景にあるもの	◎	56分	藤岡 淳子（大阪大学、名誉教授）	
		虐待、DV、いじめ、ハラスメント ー弱者への暴力を考えるー	◎	75分	中村 正（立命館大学、教授）	
		暴力の世代間伝達	◎	58分	野坂 祐子（大阪大学、教授）	
B-1-10	心理職として知っておきたい 現代社会の課題② （353分）	危機対応におけるコミュニケーション	◎	59分	平井 啓（大阪大学、准教授）	8,800円
		災害における危機対応	○	38分 38分	河嵩 譲（厚生労働省委託事業DPAT事務局次長、医師） 大澤 智子（兵庫県こころのケアセンター、上席研究主幹）	
		医療化／心理化とメンタルヘルスケアの社会化	◎	78分	石原 孝二（東京大学、教授）	
		こころの病とこころの薬	◎	55分	黒木 俊秀（九州大学、教授）	
		依存症の理解と対応	◎	85分	松本 俊彦（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、薬物依存研究部部長(兼任)薬物依存症センター、センター長）	
B-1-11	身体とこころについて考える （327分）	病気・障害とこころ	◎	45分	黒木 俊秀（九州大学、教授）	8,800円
		身体とこころ ーこころを身体の面から捉えるー	○	82分	黒木 俊秀（九州大学、教授） 熊野 宏昭（早稲田大学、教授） 兼本 浩祐(愛知医科大学、教授)	
		こころの病とこころの健康を考える ー精神科医療における診断ー	□	74分 46分	黒木 俊秀（九州大学、教授） 山下 洋（九州大学病院、特任准教授） 杉山 登志郎(福井大学、客員教授)	
		心と体の境界域：慢性一次性疼痛の臨床	△	80分	黒木 俊秀（中村学園大学、教授） 杉山 登志郎（福井大学、客員教授）	
B-1-12	医療現場で働く心理職が知っておきたい基礎知識（332分）	我が国の保健医療制度の現状と課題	◎	48分	吉川 隆博（東海大学、教授）	8,800円
		チーム医療とリーダーシップ	○	46分 53分	畠山 卓也（高知県立大学、准教授） 古村 健（国立病院機構東尾張病院、心理療法士）	
		一般身体科領域における公認心理師への期待	◎	100分	服巻 豊（広島大学、教授）	
		地域在宅医療における公認心理師への期待	△	85分	黒木 俊秀（中村学園大学、教授） 若林 英樹（三重大学、教授） 神田橋 宏治（としま昭和病院 医師）	
B-1-13	医療現場の実践（314分）	保健医療分野におけるトラウマインフォームドケア	◎	64分	大岡 由佳（武庫川女子大学、准教授）	8,800円
		医療従事者の虐待対応とその後ーTICの視点から	○	85分 21分 23分	毎原 敏郎（兵庫県立尼崎総合医療センター、医師） 大岡 由佳（武庫川女子大学 准教授） 黒木 俊秀（中村学園大学、教授）	
		精神科急性期病棟における多職種連携	○	57分	黒木 俊秀（中村学園大学、教授） 三井 督子（京都大学大学院医学研究科 助教） 草地 仁史（日本精神科看護協会 業務執行理事）	
		生活習慣と未病状態への支援	○	64分	神田橋 宏治（としま昭和病院、医師） 竹中 晃二(早稲田大学、名誉教授)	
B-1-14	学校現場におけるスクールカウンセラーの役割① （317分）	教育の現状と動向	○	38分 35分	仲村 健二（文部科学省児童生徒課生徒指導室、室長） 石隈 利紀（東京成徳大学、特任教授）	8,800円
		学校組織とチーム学校の理解	○	42分 43分	山口 豊一（聖徳大学、教授） 石川 悦子（こども教育宝仙大学、教授）	
		危機への理解と支援	◎	58分	窪田 由紀（九州産業大学、科研費特任研究員）	
		教育分野における課題と心理職の役割 ー学校における支援に必要な視点ー	□	101分	石隈 利紀（東京成徳大学、教授） 家近 早苗（東京福祉大学、教授） 水野 治久（大阪教育大学、教授） 半田 一郎（子育てカウンセリング リソースポート） 大石 幸二（立教大学、教授）	
B-1-15	学校現場におけるスクールカウンセラーの役割② （319分）	子どもの問題と心理教育的援助サービスのモデル	○	34分 49分	新井 雅（跡見学園女子大学、教授） 大石 幸二（立教大学、教授）	8,800円
		家庭や地域の問題と心理教育的援助サービス	○	36分 37分	水野 治久（大阪教育大学、教授） 野田 正人（立命館大学、特任教授）	
		教職員へのコンサルテーション・コーディネート	○	29分 44分 30分	谷島 弘仁（文教大学、教授） 小野瀬 雅人（聖徳大学、教授） 小林 朋子（静岡大学、教授）	
		チーム学校へのコンサルテーション	○	30分 30分	家近 早苗（東京福祉大学、教授） 西山 久子（福岡教育大学、教授）	
		不登校と社会的ひきこもり ー社会的引きこもりについてー	◎	46分	斎藤 環（筑波大学、教授）	

心理臨床研修【5時間を基本とした講義セット】

※臨床心理士のポイント更新可能

研修No	研修テーマ	講義	講義形式	講義時間	講師	受講料
B-1-16	学校現場におけるスクール カウンセラーの役割③ (310分)	不登校と社会的ひきこもり　―不登校について―	◎	40分	伊藤　美奈子（奈良女子大学、教授）	8,800円
		子ども（当事者）とのパートナーシップ	○	40分 32分 35分	水野　治久（大阪教育大学、教授） 池田　美樹（桜美林大学、准教授） 小栗　貴弘（跡見学園女子大学、教授）	
		保護者、地域との連携	○	40分 50分	大河原　美以（大河原美以心理療法研究室） 田村　節子（東京成徳大学、教授）	
		子ども、学校組織・風土、環境のアセスメント	○	46分 27分	半田　一郎（子育てカウンセリング　リソースポート） 小野　純平（法政大学、教授）	
B-1-17	児童福祉分野における心理職 の実践（323分）	福祉領域における権利擁護と法制度 ―児童福祉分野における権利擁護の考え方―	◎	31分	高橋　温（新横浜法律事務所、弁護士）	8,800円
		多職種協働による支援と心理職の役割 ―児童福祉分野における多職種協働の考え方―	◎	43分	薬師寺　真（倉敷児童相談所、所長）	
		子育て支援と心理職の役割	◎	33分	八木　安理子（同志社大学、客員教授）	
		児童虐待対応の流れと心理職の役割	◎	45分	薬師寺　真（倉敷児童相談所、所長）	
		生命と存在に関わる真実告知　―出自を知ること―	◎	48分	山田　勝美（山梨県立大学、教授）	
		社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割 1： 小学校年齢児	◎	66分	藤原　誠（子どもの虹情報研修センター、研修課長）	
		社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割 2： 思春期・青年期	◎	57分	増沢　高（子どもの虹情報研修センター、研究部長）	
B-1-18	高齢者福祉分野における心理職 の実践（303分）	福祉領域における権利擁護と法制度 ―高齢者福祉分野における権利擁護の考え方―	◎	42分	加藤　伸司（東北福祉大学、教授）	8,800円
		多職種協働による支援と心理職の役割 ―高齢者福祉分野における多職種協働の考え方―	◎	35分	加藤　伸司（東北福祉大学、教授）	
		認知症の理解と支援	◎	50分	繁田　雅弘（東京慈恵医科大学、主任教授）	
		高齢者・その支援者を共に支える	◎	52分	繁田　雅弘（東京慈恵医科大学、主任教授）	
		高齢者支援における高齢者と家族に対する心理的支援の実際	◎	65分	加藤　伸司（東北福祉大学、教授）	
		老いと死　―医療現場における看取り―	◎	59分	神田橋　宏治（としま昭和病院、医師）	
B-1-19	司法分野における心理職の実 践①（353分）	法制度と職業倫理のジレンマの中で	◎	61分	古村　健（名古屋市立大学大学院、准教授）	8,800円
		医療観察法と心理職の役割　―司法鑑定と事例検討―	○	58分 49分	古村　健（名古屋市立大学大学院、准教授） 西中　宏吏（早稲田大学、助教）	
		リスクアセスメントとクライシスプラン　―事例をもとに―	△	42分 24分 23分	古村　健（名古屋市立大学大学院、准教授） 野村　照幸（新潟医療福祉大学、教授） 黒木　俊秀（中村学園大学、教授）	
		公的支援と民間支援のシームレス連携	□	96分	犬塚　貴浩（大阪刑務所、法務教官） 谷　真如（内閣府内閣サイバーセキュリティセンター、参事官補佐） 野村　和孝（北里大学、准教授） 浅見　祐香（目白大学、専任講師） 嶋田　洋徳(早稲田大学、教授)	
B-1-20	司法分野における心理職の 実践②（301分）	司法における人間へのまなざし	○	53分	廣瀬　健二（元裁判所判事） 橋本　和明（国際医療福祉大学、教授）	8,800円
		司法・犯罪分野における特有の感情の理解	◎	69分	門本　泉（大正大学、教授）	
		反省や内省を促す心理職の関わり	○	45分 24分	石川　隆行(宇都宮大学共同教育学部、准教授） 門本　泉（大正大学、教授）	
		加害者支援と犯罪被害者支援	○	40分 33分 37分	寺田　孝（川越少年刑務所、法務教官） 齋藤　梓（上智大学総合人間科学部、准教授） 対談	
B-1-21	産業分野における 心理職の実践①（313分）	現代社会とキャリア　―キャリア形成とその支援―	◎	64分	下村　英雄（独立行政法人労働政策研究・研修機構職業構造・ 職業指導部門、副統括研究員）	8,800円
		キャリアサイクル理論　―新入社員のリアリティ・ショック―	◎	55分	道谷　里英（順天堂大学、前任准教授）	
		組織論　―若手社員のうつ反応―	◎	71分	佐藤　恵美（メンタルサポート＆コンサル沖縄）	
		組織マネジメント論　―部長職による人材育成―	◎	68分	佐倉　健史（さんぎょうい株式会社　メンタルヘルス・ソリューショ ン事業室、室長）	
		多職種連携　―関連職種との連携―	◎	55分	高野　知樹（神田東クリニック、院長）	
B-1-22	産業分野における 心理職の実践②（350分）	リーダーシップ論　―女性研究職の登用―	◎	56分	大庭　さよ（メンタルサポート＆コンサル東京）	8,800円
		社会集団・組織と心身の健康	◎	61分	山口　裕幸（九州大学、教授）	
		外部EAP論　―若手の退職事例―	◎	62分	田中　勝男（公認会計士）	
		産業精神保健論	◎	60分	高野　知樹（神田東クリニック、院長）	
		復職支援（リワーク）	◎	60分	三宅　美樹（トヨタ車体研究所）	
		多様性の時代の雇用 ―雇用における多様性を考える、人権、倫理、公正との関連から―	◎	51分	白木　三秀（早稲田大学、名誉教授）	